

関平だより

平成20年9月号



発行 霧島市営 関平鉱泉販売所

0120-235-524

定休日 第1及び第3火曜日

霧島の歳時記

今年の夏は、全国的に高温で少雨という気象庁の記事がありました。連日猛暑が続きましたが、夏バテなどされなかったでしょうか？ここ霧島も、猛暑が続いておりましたが、最近、朝夕にふと涼しい風を感じたりする日もあり、何となく秋の気配が近づいてきています。秋分の日、春分の日と同様、昼と夜の長さが等しい

日で、この日を境に夜の方が長くなっていきます。夜が長くなると共に、暑さ寒さも彼岸までと言われるように、厳しかった暑さも別れ、過ごしやすくなります。

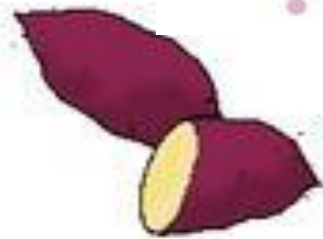
また、秋になると野菜などいろいろな食材が出てきます。隣接する特産品販売所へ聞いたところ、

「これからの時期は、里芋・さつまいも、果物では、ぶど



関平鉱泉所風景 (8月)

う・梨等がたくさん入荷してきますので、ぜひ、買いに来てください！」と言われておりました。



お詫びとご報告

当温泉では、関平、新床の両源泉温泉水を供給し、2つの浴槽で皆様方にご利用いただいております。関平鉱泉販売所にお

きまして、鉱泉水のご注文を大変多くいただいて製品製造が間に合わない状況となり、平成20年8月10日から関平の浴槽を休止し、新床温泉のみでのご入浴とさせていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけしておりましたが、平成20年8月26日より関平温泉のご入浴もできるようになっております。ここ霧島は、

これから紅葉がとても綺麗になっていきます。ドライブや、関平鉱泉水を買いに来られたついでに、霧島連山を一望できる関平温泉の貸切露天風呂でゆっくりと疲れを癒してください。



ニュース

情報誌「わさびWaSaBi夏」に掲載！！

「自然の力に元気の“気”をもらう鹿児島へ」というコーナーで、美容業界で活躍されているカリスマ美容アドバイザーの佐伯チズさんと、はなまるマーケットなどテレビで活躍されているタレントの庄司麻由里さんが関平鉱泉所へ来られて、試飲されている様子や関平鉱泉水や関平温泉が紹介されました。

発行：株式会社インデックス・コミュニケーションズ (8月7日発行)



佐伯チズさん(左)と庄司麻由里さん



朝日新聞社 最新版週刊『日本百名山』編集部より
関平温泉の取材がありました！！

今、団魂世代を中心に野外レクリエーション、特に登山への志向が高まっているそうです。百名山の麓の宿や温泉など編集部が読者に喜ばれるような取材先を選んで、お立ち寄り情報を紹介するコーナーで、関平温泉が紹介される内容になっております。

「最新版週刊日本百名山」49号 阿蘇山・霧島(08年末発売予定)

発行：朝日新聞社

JR九州『鹿児島スイッチ』に掲載！！

JR九州発行の九州の主要駅で、無料で配布される観光誌のリーフレット「鹿児島スイッチ」の温泉味のコーナーで、関平鉱泉が紹介されます。期間は平成20年9月1日から平成21年1月末までの予定となっております。また同時に、JR九州の「鹿児島スイッチ」のホームページでも、その期間内はご覧になれます。霧島の観光などの情報も盛りだくさん紹介されておりますので、県外におられる方で霧島へ旅行のご予定のある方は、ぜひご覧ください。



お客様の声

多くのお客様からご意見・ご要望・ご指摘をいただいています。紙面の都合上、一部のみを記載いたします。

【ご意見】 関平鉱泉水のコックの反対側（底）の部分に、青い文字で日付が印刷してありますが賞味期限ですか？

【お 答】 10L・20L 商品の底部分の青色の日付は、段ボール箱の製造日です。鉱泉水の賞味期限ではありません。鉱泉水の賞味期限・製造日はコックを正面から見たとき左側面に黒い印字で記載されております。段ボール箱の製造日は7月18日納入分より、箱の中に記載するように変更いたしました。ご指摘ありがとうございました。



賞味期限記載場所

健康知識 その 8.

8月号では夏バテについて予防法など掲載しましたが、今回は「がんに対する免疫の力」ということで紹介します。

1.がんに対する免疫の力

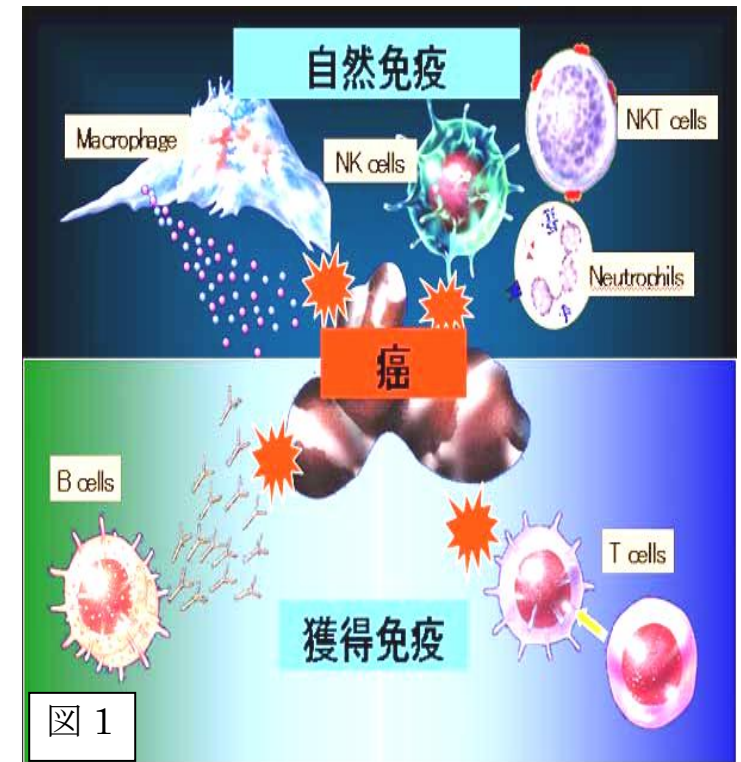
われわれのからだの中では、実は1日当たり4,000~6,000個の細胞が異常化しているのですが、これらは「小さながん」「ミニがん」と言えます。ところが、このがんの赤ちゃんのような細胞が、実際に大きな塊（かたまり）としてのがんになるというケースは極めてまれなことです。それはどうしてかということ、皆さんのからだの中で免疫を担当する細胞が、悪い細胞を小さなミニがんのうちに摘み取ってくれているからです。そうでなければ、こうしたたくさんの異常な細胞は、すぐにでもがんになってしまうかもしれません。ですから、免疫の働きというのは、がんの発生を抑えるためにとても重要な働きをします。

2.免疫系で登場するプレーヤー「免疫担当細胞」

しかし、「免疫」という力が発揮されるために、実際にどのような細胞がどのような仕組みで働いているのかということは、とっても複雑です。簡単にお話させて

いただきますが（図1）、まず免疫は「自然免疫」と「獲得免疫」に分かれます。

前者の自然免疫は比較的荒っぽい力を持ったもので、人間やその他の哺乳類のような高等生物だけではなく、原始的な生物にも備わっているものです。そこで働く「免疫担当細胞」免疫系を担う細胞には、さまざまな種類があります。自然免疫には、「マクロファージ」とか、「NK細胞（NK cells）」「NKT細胞（NKT cells）」といったものがあります。一方、後者の獲得免疫には「B細胞（B cells）」というリンパ球があり、これは抗体を作ってがん細胞をやっつけます。この抗体に関しては、すでに良いお薬として一般の病院でも使われています。また、「T細胞（T cells）」というリンパ球は2種類のものがあり、「ナイーブなT細胞」と、それが活性化されたがんをやっつける「キラーT細胞」があります。



（出典：国立がんセンター中央病院HP）

編集者のひとりごと

昨年末から今年にかけて実施しました「お客様アンケート」へご質問のありました方に、現在お電話で順次回答させていただいているところですが、直接お話しすると「私は、関平鉱泉水を、もう何年も飲んでいるが、衛生管理は大丈夫ですか？」また、「水質検査は定期的に行っていますか？」など品質について心配されている方がたくさんおられました。昨今の食品偽装などの問題が多いので、それは当然のことと思います。お電話で品質管理など説明しますと「とても安心しました。これからも飲み続けます。」と安心されていました。関平鉱泉水の製造は成分検査、一般細菌、大腸菌、カビの検査を定期的に行っており、毎月の衛生管理を徹底しておりますので、ご安心して飲んでいただきたいと思っております。